

中学校第2学年 国語科 学習指導案

1 単元名

「描写を味わう ～太宰 治『走れメロス』～」 (東京書籍)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領第2学年読むこと「イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること」「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」についての学習である。

本教材「走れメロス」は、自分の身代わりとなった友との約束を守るため、幾多の困難を克服して定刻までに王城にたどり着こうと走る主人公メロスの姿を中心に描かれている。登場人物の内面の揺れや葛藤、苦悩の描写を時間の経過とともに読み進めることで、正義感あふれるメロスの心の中にある弱さや残虐で人間不信の塊である王ディオニスの心の中にある苦悩などの心情だけでなく、「愛」「友情」「真実」などの主題、作品から読み取ることのできる人間観などについても、生徒一人一人の着眼点をもとに多様な読みを実現できる作品である。

本単元において、本教材に関する単元を貫く問いを設定し、自他の成長を実感出来る振り返り活動を位置付けた学習を行うことは、生徒が「未来の創り手」となるための「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

(2) 系統観

	第1学年	第2学年	第3学年
5月	2 思いをとらえる 「飛べ かもめ」 「さんちき」 〔C読むこと(1)ウ, オ〕	2 感想を深める 「字のない葉書」 「卒業ホームラン」 〔C読むこと(1)イ, エ〕	2 作品を感じる 「形」 「百科事典少女」 〔C読むこと(1)イ, ウ〕
10月	6 作品を読み解く 「少年の日の思い出」 〔C読むこと(1)ウ, エ〕	6 描写を味わう 「走れメロス」 〔C読むこと(1)イ, ウ(2)ア〕	6 関係を読む 「故郷」 〔C読むこと(1)イ, ウ〕
読書	読書への招待 「トロッコ」 〔C読むこと(1)エ〕	読書への招待 「字のない葉書」 「卒業ホームラン」 〔C読むこと(1)エ〕	読書への招待 「最後の一句」 〔C読むこと(1)エ〕

(3) 生徒観

- 平成28年度熊本県学力調査では、**3** (3)「場面の展開や登場人物の描写に注意して読むこと〔読ウ〕」の問題において最も課題が見られた。また、全国学力学習状況調査問題を用いた実態調査からは、「場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること」や「作品の内容や構成、表現上の特色を踏まえ、自分の考えを持つこと」について課題が見られた。これは、情報(表現、描写)をもとに想像力を働かせ、自分の考えを高める活動の経験が不足してことが原因であると考えられる。
- 事前に行ったアンケート調査から、学習において「周りの人から成長を認められている」「周りの人が主体的になった」という実感を持つことができる生徒が少ないことが分かった。これは、お互いの成長について交流する機会が少ないこと、振り返りの中で学んだことをどのように生かしていくのかについて考える場面が少ないことによると考えられる。
- 文章から情報を読み取ったり他の生徒の発表を正確に聞き取ったりすることに困難を感じている生徒や、文章に書かれている内容に関して想像を広げることに困難を感じている生徒が数名おり、学習を進める上で個別の配慮が必要である。

(4) 指導観

- 「研究の視点1」に基づき、情報（表現，描写）をもとに想像力を働かせ、自分の考えを持つための工夫を行う。

研究の視点1
「見方・考え方」に着目した問いの工夫

①単元を貫く問いを設定し、その問いについて判断するために言葉の意味，働き，使い方を検討させたり，お互いの考えを検討させたりすることで，自分の考えを深めさせるようにする。

- 「研究の視点2」に基づき，お互いの成長について交流したり，振り返りの中で学んだことをどのように生かしていくのかについて考えたりするための工夫を行う。

研究の視点2
学びを実感する振り返りの工夫

②一枚ポートフォリオに記録し，振り返らせることで，内容の理解に至ったプロセスで用いた「読み方」や，自己の成長について振り返らせる。

- 配慮が必要な生徒に対しては，教師が発表内容をメモ化しておくことで，発表内容を正確に聞き取ることができるようにするとともに，メモに書かれた他者の考え方を参考にして自分の考えを導き出すことができるように，教師が個別指導を行う。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	作品から読みとることのできる「勇者」観について検討する活動を通して，人物描写や情景描写を根拠にして解釈し，自分の考えをまとめることができる。	
国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・技能
①小説を読み深めることを楽しむとともに，学んだことを次の活動に生かそうとする。	②描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて，物語の内容を理解し，自分の感想をもっている。（読イ） ③感想を交流するために，物語の構成や展開，描写や比喩などの表現について，具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。（読ウ）	④文章を読む際に，抽象的な概念を表す語句，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などに注意している。（伝国イ(イ)）

4 指導・評価の計画（7時間取扱い 本時5／7）

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	1	1 小説の内容や設定をつかむ。（音読，意味調べ 等） 2 「単元を貫く問い」を知る。	【言語】④：ワークシート
二	3	3 「単元を貫く問い」について，自分の考えを持つ。 4 場面ごとに検証し，メロスの人物像とその変化について分析する。	【関・意・態】①：観察 【読む】②：ワークシート 【言語】④：ワークシート
	2 本時 1/2	5 「単元を貫く問い」について検討し合ったことをもとに，最終的な自分の考えをまとめる。	【関・意・態】①：観察 【読む】③：ワークシート
三	1	6 自分の考えの変化について振り返り，自他の成長についてまとめる。	【関・意・態】①：ワークシート

【言語活動】メロスの人物像について検討する。

【研究の視点1】「見方・考え方」に着目した問いの工夫

【研究の視点2】学びを実感する振り返りの工夫

5 本時の学習

(1) 目標

作品から読み取ることができる人間観について話し合う活動を通して、登場人物の言動や情景描写、場面の展開の効果などをもとに想像する力を高める。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 5分	1 本時の学習目標を確認する。 [本時の学習目標] メロス本当に勇者であると言えるのか、自分の考えをまとめるために話し合おう。	○これまで考えてきた「単元を貫く問い」について、考えをまとめるために話し合うことを説明する。	
	2 これまでの学習を振り返る。	○まず、それぞれの立場（言える、言えない）を確認し、その後、自分の一枚ポートフォリオを確認させることで、これまでの学習を振り返らせる。	一枚ポートフォリオ
展開 20分	3 本時の問いについて、グループで話し合う。 [本時の問い] メロス本当に勇者であると言えるのか、同じ立場の人たちと意見を出し合ひましょう。 [言語活動] （設定の意図） 小説から読み取ることのできる人間観について、グループで考えを述べ合う。この言語活動を通して、他の考えや、考えのもとになる根拠等について理解し、それらを自分の意見を深めるために用いることができるようにする。	能動型学習 問いについてあらかじめ自分の考えを持たせておき、能動的に学習活動を行わせるようにする。 [研究の視点1] ① 同じ立場の生徒同士でグループをつくって話し合わせ、お互いの考えの良いところを取り入れて、自分の考えをより確かにすることができるようにする。 評価：関心・意欲・態度（観察） B基準 他の生徒の発表を生かして、自分の意見を高めるようとしている。 〈B基準に達していない生徒への手立て〉 ○他の生徒の考えをメモするように指示する。 徹底指導 代表的な生徒の考えをメモ化して生徒に渡しておき、それぞれの生徒が、メモを活用して他者の考えを参考にしながら自分の考えを導き出すことができるようにする。 ○記録者を決めておき、班の中で出た考えを小黒板にまとめさせる。小黒板を黒板に掲示することで、発表の概要や、立場の分布等を視覚化する。 ○班の代表者に発表させ、掲示された小黒板を用いて、発表者の考えの根拠を明確化したり、考えを比較したり、関連付けたりする。	
20分	4 グループで出た意見を全体で紹介する。	○班の代表者に発表させ、掲示された小黒板を用いて、発表者の考えの根拠を明確化したり、考えを比較したり、関連付けたりする。	メモ 小黒板 一枚ポートフォリオ 小黒板
まとめ 5分	5 次時の見通しを持つとともに、本時の問いについての自分の考えを見直す。	[研究の視点2] ② 次時に行うクラス全体の話合いのために、一枚ポートフォリオに加筆修正しておくよう指示する。 評価：思考・判断・表現（一枚ポートフォリオ） B基準 物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、必要な部分を取り上げて考えをまとめている。 A基準 B基準に加え、主題との関連等についても考えている。 〈B基準に達していない生徒への手立て〉 ○他の生徒の考えを紹介し、それらを参考にしながら自分なりの考えを書かせるようにする。	一枚ポートフォリオ